

小田原駅・小田原城周辺まちづくり機能配置検討案一覧表

| | 小田原駅周辺地区 | | 小田原城周辺地区 | | 集客効果 | 概算整備費用 (市費負担) |
|-----|---|---|--|---|---|---|
| | ＜機能配置の方向性＞ 各種公共交通の結節点である小田原駅の周辺地区については、超高齢化社会の到来を見据えたとき、交通弱者を含め、あらゆる世代の市民等が、それぞれ多様な交通手段により集うことができる地区であることから、市民の交流と創造の場としての機能を配置する。 | | ＜機能配置の方向性＞ 年間約 240 万人の観光客が訪れる小田原城址公園については、馬屋曲輪の整備により、正規登城口に面する三の丸地区への観光客の大幅なシフトが見込まれることから、観光客の周辺地区への回遊を促し、滞在時間の拡大を図るための機能を配置する。 | | | |
| | お城通り地区再開発事業 (①) | 小田原地下街施設 (②) | 現ホール予定地 (③) | 市民会館等跡地 (④) | | |
| A 案 | ＜ホール中心型＞ ・大ホール (1,500 席) ・小ホール (300 席) ・市民会館本館機能 (350 m ²) ・商業機能 (1,500 m ²) | ＜公共機能＞ ・市民活動支援拠点 ・子育て支援拠点 ・来訪者サービス拠点 | ＜回遊促進機能＞ ・ガイドランス施設 (観光案内所、物産館、歴史体験施設等) ・アメニティ施設 (お休み処、広場等) ・レンタサイクル | ＜観光付帯機能＞ ・一般車駐車場 ・ポケットパーク | ① 508 (千人) ② 107 (千人) ③ 869 (千人) ④ - (千人) 計 1,484 (千人) | ① 10,902 (百万円) ② 240 (百万円) ③ 1,012 (百万円) ④ 56 (百万円) 計 12,210 (百万円) |
| B 案 | ＜ホール商業両立型＞ ・大ホール (1,500 席) ・小ホール (300 席) ・市民会館本館機能 (300 m ²) ・子育て支援施設 (400 m ²) ・商業・業務機能 (14,000 m ²) | | ＜観光付帯機能＞ ・観光バス駐車場 | ① 1,673 (千人) ② 107 (千人) ③ 869 (千人) ④ - (千人) 計 2,649 (千人) | ① 11,374 (百万円) ② 240 (百万円) ③ 1,012 (百万円) ④ 56 (百万円) 計 12,682 (百万円) | |
| C 案 | ＜ホール商業融合型＞ ・中ホール (700 席) ・市民会館本館機能 (1,100 m ²) ・子育て支援施設 (400 m ²) ・商業・業務機能 (11,000 m ²) | | ① 1,338 (千人) ② 107 (千人) ③ 869 (千人) ④ - (千人) 計 2,314 (千人) | | | ① 9,149 (百万円) ② 240 (百万円) ③ 1,012 (百万円) ④ 56 (百万円) 計 10,457 (百万円) |
| D 案 | ＜公共施設商業融合型＞ ・市民会館本館機能 (2,900 m ²) ・市民活動支援拠点 (2,200 m ²) ・子育て支援拠点 (400 m ²) ・商業機能 (5,000 m ²) ・業務機能 (5,000 m ²) | | ＜商業機能＞ ・商業施設 | | | |

* 上記に示す各機能の用途及び規模 (席数・面積等) は比較検討するための与条件であり、事業実施にあたっては課題別検討委員会で十分な検討を行うとともに、敷地条件等を考慮し、決定することとなる。

* 概算整備費用欄のお城通り地区再開発事業整備費は、市が保留床を買い取る場合の市負担額である。